

文教厚生常任委、先進地視察実施

根室市議会文教厚生常任委員会は10月23日に秋田県大館市「ふるさとキャリア教育」の取り組み、24日に山形県酒田市「複合施設ミライニ」と同県遊佐町（ゆざまち）「少年議会」の取り組みを視察しました。（記事中の写真は根室市議会事務局提供）

大館市「ふるさとキャリア教育」について



大館市教育委員会の高橋善之教育長が説明されました。

「ふるさとキャリア教育」とは、ふるさとに生きる基盤を培うふるさと教育「胸に誇りを刻むこと」と、自らの人生の指針を描くキャリア教育「ともに希望を語る」とを融合した大館市独自の教育理念です。ふるさとに根ざし、大館の未来を切り開く人材を育成と述べられました。

することを目的としており、今年で14年目になります。具体的には、地域の特色や素材を生かして各校で取り組む「百花繚乱作戦」、企業・地域が行う仕事やイベントの手伝い、ボランティアへの参加などの「働く体験」を仲介する「子どもハローワーク」、教師と子どもたちの知性・感性・人間性が交わり響き合う場としての「交響学」を3本柱として位置付けています。

「ふるさとキャリア教育」を取り組み積み重ねることによって、子どもたちの「自己肯定感」や「自己有用感」が高まっていることが数値に表れています。また、秋田県は子どもの学力が高いことが知られていますが、高橋教育長は「人間力を高めることで学力は後から付いてくる」と述べられました。

酒田市「駅前交流拠点施設ミライニ」について



ミライニは、酒田市立中央図書館、酒田駅前観光案内書、市営立体駐車場、駅前バス停留所、広場から構成される公共施設です。また、ホテルが併設、マンションが隣接されています。

根室市は図書館をはじめ多くの教育施設が老朽化しており、どのように対応していくかが課題となっています。「複合化」も方向性の一つと考えられます。

ミライニは駅前再々開発の中で、市民が集まりやすい施設としての図書館を中心に計画、実施されました。市民の意見も多く反映されています。

右写真は実際に図書館を見学しているところで



遊佐町「少年議会」について



「少年町長・少年議員公選事業」が始まったのは2003年のことです。そのねらいは①若者たちが、自らの代表を選び、政策を実現していく

ことで、学校外で民主主義を実際に体験・学習することで社会の構成システムを学ぶ。②中高生等の未来を担う若者の視点から、町政への提言や意見を町が積極的に取り上げることを通じて、若者の町政参加を促す。③この事業に係るすべての関係者が、若者の町政に対する意見に学び、併せて若者たちが、社会システムや民主主義を学ぶ、相互教育の場とする。以上の3点にあります。

対象者は遊佐町在住の中学生及び同町に通学する高校生で、任期は1年、再選は拒みません。構成は少年町長1名、議員10名ですが、当選しなかった者のうちから副町長、監査、事務局長等が選任されます。

町に対して一般質問を行うほか、町のイメージキャラクター制作、特産品の開発、音楽イベントの開催などを行っています。また、電車通学の利便性を高めるよう、署名を集め、JRへの要請活動も行っています。